

2025年11月4日

横浜ゴムのグローバルフラッグシップタイヤブランド「ADVAN」装着車が SUPER GT 最終戦の GT300 クラスで優勝し今季通算 5 勝目

横浜ゴム（株）のグローバルフラッグシップタイヤブランド「ADVAN（アドバン）」装着車が 11 月 1 日（土）から 2 日（日）にモビリティリゾートもてぎ（栃木県）で開催された国内最高峰の GT カーレース「2025 AUTOBACS SUPER GT」最終戦（300km レース）の GT300 クラスで優勝しました。これにより「ADVAN」装着車は GT300 クラスにおいて全 8 戦中 5 戦で勝利する強さを見せ、「ADVAN」はその高い性能を武器にシーズンを通してサポートチームの足元を支え続けました。

最終戦で優勝したのは TEAM MACH の「マッハ車検 エアバスター MC86 マッハ号（5 号車／塩津佑介選手／木村偉織選手）」です。予選 2 位でスタートした決勝では、タイヤ無交換作戦で臨み、ファーストステントを務めた塩津選手が丁寧かつ落ち着いた走りですべて 19 周目にピットイン。バトンを受けた木村選手はペースを落とさない走り続け、最終的には 2 位に 9 秒近い差をつけてゴールし、同チームにとって悲願の SUPER GT 初勝利を飾りました。安定したグリップ性能を発揮した「ADVAN」が無交換作戦を支え、チームの勝利に大きく貢献しました。また、第 7 戦で優勝した seven × seven Racing の「seven × seven PORSCHE GT3R（666 号車／ハリー・キング選手／藤波清斗選手）」が 3 位を、KONDO RACING の「リアライズ日産メカニックチャレンジ GT-R（56 号車／ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ選手／平手晃平選手）」が 4 位を獲得しました。

シリーズチャンピオン争いでは、ヨコハマタイヤ勢はライバルチームのポイントにわずかに及ばず 2 年連続のシリーズチャンピオンは逃したものの、チームランキング 2 位～5 位までをヨコハマタイヤ勢が占めました。「ADVAN」は様々な車種の性能を最大限に引き出すことで SUPER GT ならではの白熱したバトルを支え、レースを大いに盛り上げました。

横浜ゴムは 2024 年度から 2026 年度までの中期経営計画「Yokohama Transformation 2026（YX2026）」（ヨコハマ・トランスフォーメーション・ニーゼロニーロク）のタイヤ消費財戦略において高付加価値品比率の最大化を掲げ、グローバルフラッグシップタイヤブランド「ADVAN」、SUV・ピックアップトラック用タイヤブランド「GEOLANDAR（ジオランダー）」、「ウィンタータイヤ」、そして 18 インチ以上のタイヤの拡販に取り組んでいます。その中で、モータースポーツ活動を「ADVAN」「GEOLANDAR」のブランド価値向上の場と位置付け、トップカテゴリーからグラスルーツカテゴリーまでグローバルでの多岐にわたるモータースポーツ競技に参戦しています。



勝利を喜ぶ塩津佑介選手（写真左）と木村偉織選手



優勝した「マッハ車検 エアバスター MC86 マッハ号」



3位の「seven x seven PORSCHE GT3R」



4位の「リアライズ日産メカニックチャレンジ GT-R」

このリリースに関するお問い合わせ先
横浜ゴム（株）経営企画部 広報室 担当：池田
TEL：0463-63-0414 FAX：0463-63-0552